

FILE
51 サンプル整理

日々、研究活動にいそむ私たちが実験をすればするほど増えていくもの……(o(^▽^o))

それはもちろん「研究成果」ですが、実はもう1つあります。



そう、解析に使用するサンプルです。

上の写真は潜在性子宮内膜炎の診断のためにサイトブラシで子宮内膜の細胞を採取して塗抹した(塗りつけた)スライドグラスです。

顕微鏡観察をして好中球の数を数えれば解析

は終了なのですが、いつでも解析をやり直せるよう観察後のスライドグラスを保存していたらものすごい量に……。

実験室の美化を目指し、本日ついに断捨離を行いました(≥ω≤)ノ

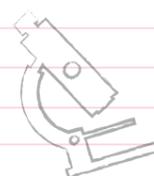
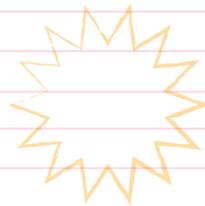
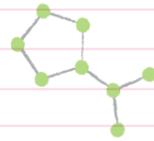
まずはスライドグラスを保存ケースから出して、かさばらないようにポリ容器に入れて捨てました。このサンプルを集めるために、本当に多くの時間と苦労がありました★

スライドグラスの数だけウシの子宮頸管にサイトブラシを通してはいるのです。

子宮頸管が細くてなかなか通らなかったり、ものすごい暴れウシで腰を振られ、蹴られながら悪戦苦闘したり……。

幸いにして努力は無駄になる事はなく、非常に興味深い結果を得る事ができました(*^▽^*)

実験につきあってくれた多くの牛たちと、サンプル集めを手伝ってくれた仲間へ感謝しつつ、大切なサンプルを供養しました。さて次はどんなサンプルを集めようo(・ω・°o)



FILE
52 ひたすら抽出

こんばんは。十勝は雪が積もっています。雪道の運転は初めてで恐る恐る運転しております……(≥▽≤)ゞ

遺伝子の情報を元にゲノム育種価を推定する際には、推定したい個体のDNAの情報が必要となります。

ET研では、DNAは主に血液からゲットしています。このDNAの抽出がなかなか面倒です("▽ω<)っ)

血液にいろいろな試薬を混ぜて抽出するので

が、使用する器具の関係で1回に24頭ずつしかDNAをゲットできないので、サンプルが大量にきた場合は一日中抽出しなければならない時もあります。

聞いた話だと、全自動でDNAを抽出してくれる機械もあるみたいですね♪
うちにもあったらいいのになーと思いつつ今日もDNAを抽出していました。

ゲノム育種価の高い牛がいる事を期待して、どんどん解析を進めていこうと思います(*^▽^*)

ET研の「いま」が分かる「全農ET研ブログ」はコチラ▶▶ <http://etken-blog.lekumo.biz/et/>
※編集の都合上、ブログと表記や写真等が異なる場合がございます



ET技術を活用して、優良和牛素牛、優良和牛繁殖牛の増産や、乳牛の後継牛確保・改良の研究を行う「JA全農ET研究所(ET研)」。そのET研が発信しているブログから、皆さまに役立つ情報を紹介していきます!

NO.
14

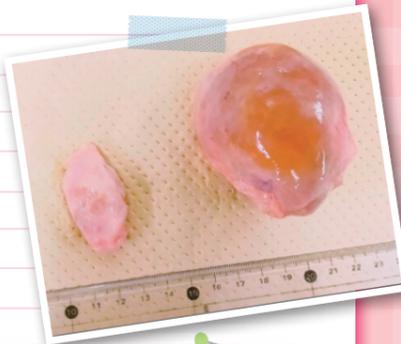
FILE
48 大きな卵巣

以前、ブログにも書いたことがあるのですが、ET研究所では食肉処理場でも卵巣採取を行っております(≥▽≤)

処理場の皆さま、いつもありがとうございます。毎回、さまざまな状態の卵巣を見る事ができるので、たいへん勉強になりますO(≥▽≤)O

先週の採取では、大きな卵胞^{のうしゅ}に罹患した卵巣を採取しました

処理場での卵巣採取歴半年の私の中では、トップクラスの大きさです(写真右)(*^▽^*)ノ.+*。



FILE
49 ウシIVFセミナー

11月中旬に「ウシIVFセミナー2017」が開催されました(*^▽^*)

セミナーでは、日本、アメリカ、韓国における体外受精の第一人者である方々が講演され、体外受精の基本から最前線まで幅広く学ぶ事ができました_φ(◎-◎-)

会場には、たくさんの方々がいらっやっていて、その中には高校生の姿も……。

日本における体外受精への期待を再認識するとともに、たいへん良い刺激になりました\(^o^)/



FILE
50 海外農業技術セミナー

先日、「カナダにおける乳牛のゲノム評価とOPU-IVFの現状」というタイトルのセミナーを受講してきましたφ(・▽・*)

受精の段階でゲノム育種価を調べる事ができる技術についての講演は、とても興味深い内容でした。

講師であるパトリック・ブロンディン博士に直

接質問させていただいて、今行っている研究に関する希望が少し見えてきました(っ`-'c)

ゲノム評価が進んでいる国のタイムリーな話を聞く事ができ、とてもいい刺激になりました。

今回のセミナーの内容をしっかりと吸収して、今後の研究に活かしていきたいと思っ

o(・ω・°o)

※IVF…体外受精 ※OPU…経膈採卵

